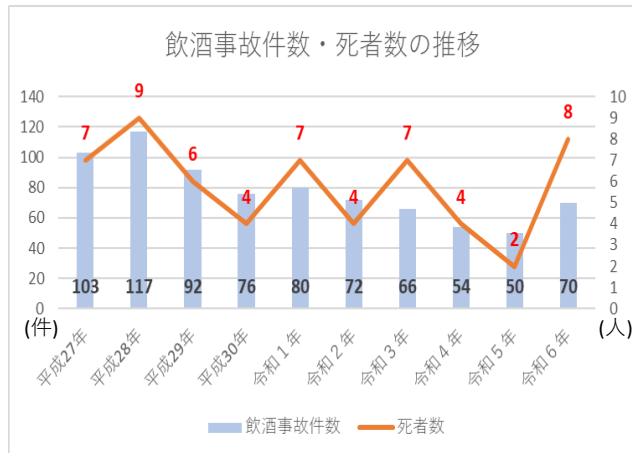


飲酒運転の根絶！！

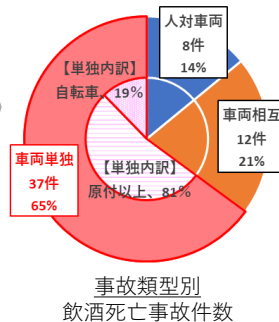
飲酒事故件数及び死者数の推移

※ 各図中の数値は、広島県内における平成27年～令和6年の10年間の推移及び累計

※ 各項目における飲酒事故は、自転車以上の第一当事者に飲酒が認められた交通事故をいう



飲酒事故は、減少傾向にありますますが、令和6年は増加するなど、依然として飲酒運転による悲惨な事故が後を絶ちません。

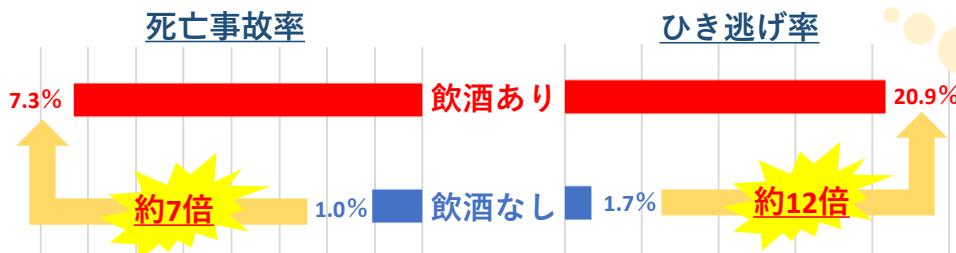


飲酒死亡事故では、単独事故が6割以上を占めており、飲酒なしの事故に比較して約2.3倍の構成率になっています。



また、単独死亡事故のうち約5件に1件は、自転車が当事者です。

飲酒事故の死亡率・ひき逃げ率



※ 平成27年～令和6年の10年間に於ける、第一当事者が自転車以上の交通事故における件数

飲酒運転は、死亡事故につながる可能性が高まるとともに、ひき逃げ等の更なる犯罪を誘発します！



飲酒運転は絶対にしない！させない！

飲酒運転の危険性

飲酒時は、運転に必要な情報処理能力・注意力・判断力などが低下し、交通事故に結びつく危険性を高めます。「自分は事故しないから大丈夫！」その考え、すでに判断力が落ちています！！

厳しい行政処分と罰則

免許停止や免許取消しの行政処分、さらに拘禁刑や罰金などの罰則があり、運転者のみでなく、車両等の提供者、酒類の提供者・車両の同乗者も対象となります。

また、令和6年11月から、自転車の酒気帯び運転も罰則の対象となりました。

